

ロシア語学専攻 Russian Studies



修士課程 ロシア語学専攻 Master's Program / Russian Studies

北見 諭 (きたみ さとし) Satoshi KITAMI
●教授/Professor

ロシア文化史、ロシア思想史専攻
とりわけ、19世紀末から20世紀初頭にかけて哲学、文学、芸術、社会思想など、幅広い分野で生じた「ロシア文化ルネサンス」、「ロシア宗教ルネサンス」と呼ばれるロシア精神史上の重大な転換点を対象に研究を行っている。その目的は、この時代のロシアの知識人に特有の思考様式を明らかにすること、そうした思考様式が成立するうえで、何がその背後にあったのかを明らかにすることである。

Russian Culture, Russian Philosophy



藤原 潤子 (ふじわら じゅんこ) Junko FUJIWARA
●准教授/Associate Professor

文化人類学的な手法でロシア文化研究を行っている。主なフィールドは、ヨーロッパ、ロシア北部と東シベリア。現代ロシアの宗教状況、シベリアのロシア人社会、気候変動の地域社会への影響などについて調査を行っている。

Cultural anthropology, Russian culture



入学者はロシア語学およびロシア文学のいずれかを専門領域とし、その領域の範囲の中で研究テーマを決定します。ロシア語を使った議論の進め方に親しんでおくとともに、ロシア語の学術論文の文体に習熟しておく必要があります。

Students will choose either the Russian language or Russian literature as their specific area of expertise and decide their research topic within that area. Students also need to become familiar with the processes of research development, using Russian to acquire proficiency in the writing of academic papers.

清水 俊行 (しみず としゆき) Toshiyuki SHIMIZU
●教授/Professor

ロシア正教思想史および精神史の文脈から、ロシアにおける聖師父文献の翻訳出版活動や修道院と世俗文学との交流を跡づけ、ロシア文化の豊性の発展を探ろうとする。

Eastern Christianity and Russian Literature

高橋 一彦 (たかはし かずひこ) Kazuhiko TAKAHASHI
●准教授/Associate Professor

近代法史。
20世紀初頭に編纂されたロシア民法草案の性格を共時性の相の下に、すなわち同時期に成立したドイツ民法典や世紀末フランスにおけるコード・シヴィルの展開を眺みながら、検討する。

Legal history, Russian civil law

授業担当専任スタッフ Academic Staff Profiles (2019年度担当予定 職種別アルファベット順)

Elena BAIBIKOVA (エレナ・バイビコフ)
●准教授/Associate Professor

主な研究分野は翻訳研究である。ロシア社会・文化・文学を論題とし、翻訳の社会的文化的な諸相を見つめ、研究を進める。文化的な活動としての翻訳、翻訳者のアイデンティティ、翻訳と異文化コミュニケーションなどのテーマを対象にリサーチする。

Translation studies, Translator studies, social and cultural aspects of translation, Russian literature in translation



金子 百合子 (かねこ ゆりこ) Yuriko KANEKO
●准教授/Associate Professor

主に現代ロシア語のアスペクトを研究対象とし、以下の課題に取り組んでいる。(1) 文法アスペクトと動詞語彙意味や接辞派生による語形成意味との関係性、アスペクトと隣接する諸分野(テンス・モダリティ他)との相関性、テクスト構成上の役割といった側面から、アスペクトの機能意味分野を体系化すること。(2) 対照言語学的視点から、ロシア語と日本語のアスペクト表現における多様な個別言語的特徴を関連づけて体系化すること。

Modern Russian grammar, Aspectology, Word-formation, Contrastive linguistics

最近の修士論文等のテーマ Recent Master's Thesis Subjects

- ・「査察官」研究—僧称の歴史とそのアイロニー—
- ・ Опыт реинтерпретации глаголов перемещения в современном русском языке.
- ・ Строительство литературы на белорусском языке—проблемы и факторы развития.
- ・ 雪解け期における社会現象としてのプラート・オクジャワ
- ・ Нижинский и его роль в русском балете
- ・ ロシア語とモンゴル語における「情報」の意味を伴う動詞の語彙・意味グループの分析
- ・ ドストエフスキーとナショナリズム
- ・ 革命期におけるマリナー・ツヴェターエワの思想と創作について

院生紹介 Message from a Student

なぜ修士課程に進学しようと思いましたか？

ロシア語を勉強するにつれて、まだ誰も触れたことのない何かを探したい、研究したいという気持ちが芽生えたからです。

—神戸市外国語大学の修士課程を選んだ理由を教えてください。

私は学部から神戸市外大でロシア語を学び、4年間だけではロシア語やロシア文化について学びきれないと痛感しました。神戸市外大では、学部・大学院問わずに、さまざまな専門の先生方とさまざまな角度からロシア語について学ぶことのできる環境が整っており、研究するには最適な場所です。また、先生や事務の方々が優しく、勉強を続けていく上でサポートも充実しているのも魅力の一つです。

—どのような学生生活を送っていますか？

学部とは比べ物にならないほどとても濃厚な毎日を送っています。授業は週に8コマあり、空いている時間は自分の研究内容に関する本を読んでいます。また、留学生との交流を通じて、自分の外国語能力の向上にも日々励んでいます。

—修士課程を考えている人にメッセージをお願いします。ロシア文学やロシア語学についてもっと勉強したい人にとって、神戸市外大は本当に素晴らしい場所です。しかし、裏を返せば、漠然とした理由で大学院に入ってしまうと、後悔してしまうことになるでしょう。しっかりとした目標を持っていれば、規模の小さな大学ですが、大きな希望を持てる場所になると思います。



平岡 寛大 (1年)
Kandai HIRASHIMA